

受付番号	10	受付月日	2月10日
			午前・午後 2時45分

東郷町議会議長 箕浦克巳 殿

東郷町議会議員

議席番号 14番 氏名 門原武志



一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 3-1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 町長が描く東郷町の将来像を問う（平成29年度施政方針について）	<p>(1) 人口減少の克服、賑わい創出に新たな箱物は必要か</p> <p>① 「東郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体策の一つとして「道の駅構想推進事業」が挙げられているが、莫大な建設費だけでなく将来の維持費を懸念する声が住民から上がっている。この意見にどう応えるのか。</p> <p>② 道の駅の必要性について、雇用創出や防災拠点などが挙げられている。既存施設の活用や拡充で対応すれば、新たな箱物による多額の投資は必要ないのではないか。</p> <p>③ 子育て支援や公共交通の拡充が、人口の自然増の増加や社会減の減少につながるのではないか。</p> <p>(2) 自治体の仕事は、住民の暮らし、福祉の増進であり、それを支える職員体制の充実には欠かせない。また指定管理者制度や民営化は、住民に関わる仕事の担い手としての町の力を削ぐことにつながらないか。</p> <p>① 保育園、児童館は特に臨時職員が多い職場であるが、質の確保のために正規職員を増やすべきではないか。</p> <p>② 質の高いサービスの継続のためには、指定管理者制度は指定期間という障壁がある。特に広い知識の継承が必要な図書館は直営に戻すべきではないか。</p> <p>③ 保育園の民営化は、町の責任の後退と、保育の担い手として培ってきた経験の放棄につながらないか。</p>	町長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>2 聴覚障害者にもやさしい町の実現を</p>	<p>④ 大阪市では上水道の民営化が検討されている。命に直結する上水道事業ほど民営化にふさわしくない事業はない。愛知中部水道企業団を周辺の4市とともに設置している東郷町長としての見解を伺う。</p> <p>(3) 広域行政について</p> <p>① スケールメリットが期待できる事業、スケールメリットが期待できない事業についての見解を伺う。</p> <p>② 東郷町は、町単独では困難な常備消防の設置を、当時の日進町、三好町とともに尾三消防組合を立ち上げることにより行った。これは「スケールメリット」を生かしたと言える。では大きければ大きいほど良いのか。適正な規模について見解を伺う。</p> <p>③ 平成30年4月から始まる国民健康保険の広域化では、県から示された保険料を町が納めなければならず、無理な差し押さえなど過度な徴収が懸念されている。国保料の徴収についての見解を伺う。</p> <p>(1) 手話言語条例の制定について 全国でも手話言語条例の制定が進んでいる。手話を言語として位置付ける「手話言語条例」制定についての考えを伺う。</p> <p>(2) 子どもの難聴への対応について</p> <p>① 新生児聴覚検査実施の考えについて伺う。</p> <p>② 軽度・中程度難聴児への補聴器購入補助について実施する考えについて伺う。</p> <p>(3) 手話通訳の配置について</p> <p>① 町主催行事への手話通訳の配置の状況について伺う。</p> <p>② 議会傍聴における手話通訳の必要性について考えを伺う。</p>	<p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
3 消防広域化について	<p>(1) 消防力の整備について</p> <p>① 消防力の整備指針（平成十二年一月二十日 消防庁告示第一号）第1条第2項では「市町村は、この指針に定める施設及び人員を目標として、必要な施設及び人員を整備するものとする。」とある。尾三消防、豊明市消防、長久手市消防それぞれの施設（消防署所、車両等）と人員で、この指針に定める目標を達成できていることは何か。また、できていないことは何か。</p> <p>② 尾三・豊明市・長久手市の消防が統合された場合、整備するものとされている施設及び人員の目標は全体の人口が大きくなることによって緩和される。統合前には目標を達成できていないものでも統合後には目標を達成できるもの、目標を超過達成するものはあるのか。</p> <p>(2) 消防広域化への財政支援について 広域化に必要な経費に対して、どれだけの財政支援があるのか。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。